

安全で安心な選挙体制の確立

・突発的な災害対応時にも備えた選挙執行体制の確立

災害時にはこれまで以上に早期、また長期での対応が必要になっています。

職員数は800人(R5.4.1時点)で、4票の場合になれば現在の職員数では対応できません。

●95の投票所の場合

投票従事者数 + 開票事務従事者 + 災害対応職員数

$$538人 + 150人 + 420人 = 1,108人 > 800人 \Rightarrow \times$$

●37の投票所に見直した場合の例

$$267人 + 150人 + 420人 = 837人 > 800人 \Rightarrow \triangle$$

→見直した場合であっても災害対応職員を確保しつつ選挙体制も確保するためには保育士や会計年度任用職員にも協力を依頼することになります。**※800人には看護師や保育士(152人)が含まれています。**

参考:警報発令時の災害対応(約140人×3交代=約420人(水道、建設等の待機職員含む))